

## JW 第18回 産業廃棄物と環境を考える全国大会の開催 ～「資源循環」をテーマに掲げ、循環型社会の形成や低炭素社会の実現を図る～

令和元年11月15日(金)兵庫県神戸市において、(公社)全国産業資源循環連合会、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団及びJWセンターの三団体主催による、「産業廃棄物と環境を考える全国大会」を開催いたしました。本大会は第18回目を迎え、多くの廃棄物関係者等(557名)の参加がありました。

上智大学法科大学院の北村教授による「廃掃法施行50年の振り返りと今後の展望」と題する基調講演のほか、昨今大きな関心を集めている廃プラ問題について、有識者、行政、事業者等によるパネル討論会「廃プラ輸出からの脱却」を開催しました。

次回は、令和2年11月27日(金)に東京都での開催を予定しています。

### 開催概要

- 【開催日時】 令和元年11月15日(金)
- 【場所】 ホテルオークラ神戸(兵庫県神戸市)
- 【プログラム】
  - 13:30～ 開会式
  - 13:50～ 環境大臣表彰式典
  - 14:40～ 基調講演「廃掃法施行50年の振り返りと今後の展望」  
講師：北村 喜宣 氏(上智大学法科大学院教授)
  - 15:30～ パネル討論会「廃プラ輸出からの脱却」
  - 17:30 閉会



パネル討論会の様子

## JW 埼玉県上下水道施設の見学

JWセンターでは、今年度の電子マニフェスト普及拡大の1つに、下水道事業に係る汚泥への利用促進を掲げています。これを機に、令和元年10月31日(木)に、職員育成を兼ね、埼玉県上下水道施設のうち、「荒川水循環センター(埼玉県戸田市)」及び「大久保浄水場排水処理施設(埼玉県さいたま市)」を訪問しました。

活性汚泥法(好気性微生物による水中の有機物の分解)や汚泥濃縮・脱水の様子などを見学し、発生する上下水汚泥の処理工程や排出状況等の知見を深めました。



汚水の汚れが分解された処理水を確認する様子